

令和元年度足寄町商工会経営発達支援計画
の実施に伴う（中間）事業評価会議記録

評価機関名 足寄町商工会
開催日時 令和元年10月18日（金）午後3時00分～午後4時00分
開催場所 足寄町商工会館会議室
出席者 評価委員 足寄町役場経済課 室長 村石 靖 氏
北海道銀行足寄支店 支店長 中住 義人 氏
帯広信用金庫足寄 支店長 本多 一仁 氏
北海道商工会連合会十勝支所長 大山 信幸 氏
専門家 商業からのまちづくり工房 代表 加藤 玲 氏
㈱アイ・ピー・エス 代表取締役 山崎 明美 氏
足寄町商工会 会長 丸山勝由
副会長 高橋秀樹、菅原智美
事務局 佐々木健一、前崎幸男、大久保基

1. 令和元年度経営発達支援事業実施（伴走型小規模事業者支援推進事業実施）
状況中間報告について

(1) 伴走型小規模事業者支援推進事業・商工会計画実行型スケジュール【資料1】
前崎指導課長より資料1～に基づき概要及び、10月までの事業遂行状況について説明した。

(2) 伴走型小規模事業者支援推進事業中間報告書【資料2】
㈱アイ・ピー・エス、山崎氏より中間報告書に関する調査報告書について別紙資料2に基づき説明した。

(3) 経営発達支援事業による伴走型支援事例【資料3】
前崎指導課長より資料3に基づき2件の事例報告をした。

2. 意見交換

専門家：加藤 玲氏	：中間報告書にあるロードマップの中・長期のフロー図としては1枚でおさめられ、良いが、支援者は何を支援し、何を解決するのか。これでは進めるための課題点などが見えない、やはり単年度のヒアリングシートにあるような課題解決の部分が必要である。
丸山会長	：事例集は皆様からの評価も受けて良いが、一方では特定の会員

	だけが支援を受けているという見方をされるので、やはり PR することが大事である。商談会等への出展もそうだが、新しい事業者の掘り起しをしていくことが必要。既存の商品でも、改良できるもの、新商品開発を働き掛けることも課題である。
大山支所長	: 事例集の活用方法について何かあるか。
事務局	: 事例集は初めての試みで 40 近い事例を掲載できた。各職員に相談時のツールとして活用してもらっている。
委員：本多支店長	: 出展の事例も 2 件あったが、手間もかかるのではないか。
事務局	: 支援者も指導員だけでなく、それぞれが支援した事業者の成果や声などを聞き取りしながら作成している。事例集という報告を見据えて聞き取りができるので、一つの事業として 1 枚で完結した報告書ができています。
委員：村石室長	: これだけの事業を期間の中で実施していくことは、大変ご苦労のことと思うが、事業者に寄り添い、伴走されている商工会に
事務局	: 事例集については、補助金等の実績だけでなく、今回のように出展の実績報告や、補助金活用にとどまらない支援も事例としていきたい。補助金活用だけでなく金融・税務支援、記帳支援など通常業務の中で生まれる事例もある。
委員：本多信金支店長	: 昨年ヒアリングされた事業者や伴走支援した事業者についてもフォローアップを重ねることと、より多くの会員に知れ渡り、支援されていくことを望みます。
事務局	: 現在大学連携事業者ワークショップを 8 月から取り組んでおり、11 月 2 日に報告会を開催する。3 事業者への提案とこれからの実施に向けた報告会にぜひ足を運んでほしい。
事務局	: また 2 月に最終の評価会議を開催予定ですので、よろしくお願いいたします。

その他、事務局は意見等を求めたが特に発言はなく、評価委員会を閉会した。時に午後 4 時 00 分であった。